

CENTRALIZED LUBRICATING SYSTEM

**UE40MPa
DX40MPa**

デュアルラインシステム電動ポンプ

UE-30/UE-40/UE-45 40MPaポンプ
DX形 40MPa分配弁



UE形電動グリースポンプ

40MPa UE形電動グリースポンプ

高圧化と大吐出量化を実現

■概要

この電動グリースポンプは、デュアルラインシステムに使用するポンプです。高圧、大吐出量化により、配管のサイズダウンや広範囲給油に対応し、給油システムのコストダウンに貢献します。

■特長

独自のポンプ構造と伝達効率のよい駆動機構。

・独自のポンプ構造

独自ピストン構造のポンプ機構で従来容量モータで高圧化と大吐出量化を実現(倍量化)。<特許取得済>

(0.75kWモータで吐出圧力 21→40MPa)
(吐出量 194→400cm³/min (50Hz))

・高圧対応の配管接続が出来ます。

配管接続口、補給口は、Gネジ接続で40MPa対応になっています。

■備考

・圧力スイッチおよび安全弁は設定は次の通りに調整してあります。

形式	設定圧力 (MPa)	
	圧力スイッチ	安全弁
UE-*0AE	—	4.5
UE-*0AN	3.2	

・配管接続口はGねじです。40MPaの場合はGねじ専用の継手をご使用ください。

・使用グリースは集中潤滑用NLGIちよう度番号0～#2 (但し、使用温度においてちよう度240以上-未混和-とする) 相当のものを選定してください。

・ギヤードモータは、全閉外扇B種、屋内形が標準です。

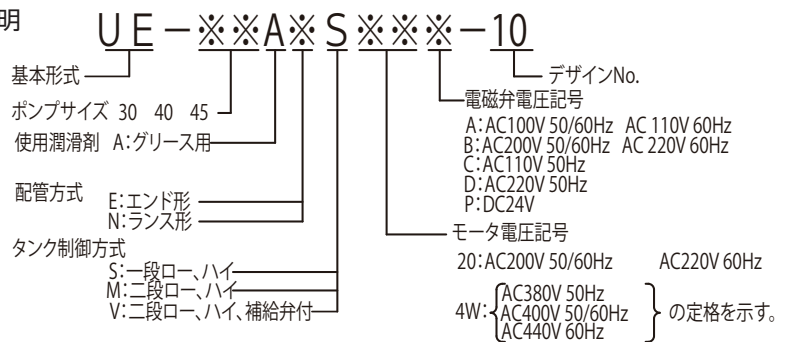


■仕様

形式	最高使用圧力 MPa	吐出量 cm ³ /min		ポンプ 回転数 min ⁻¹		減速比	ギヤードモータ kW×4P		タンク容量 L	配管方式	質量 kg
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		容量	電圧と周波数			
UE-30A**S***-10	40	133	160	25	30	1/60	0.4kW	200V 220V 50/60Hz 60Hz	90	エンド形 及び ランス形	300
UE-40A**S***-10		200	240	37.5	45	1/40		380V 400V 440V 50/60Hz 60Hz			
UE-45A**S***-10		400	480	75	90	1/20	0.75kW	200V 220V 50/60Hz 60Hz			

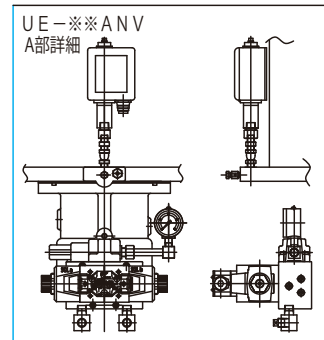
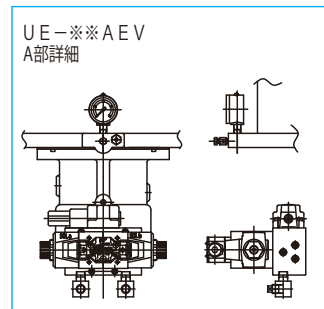
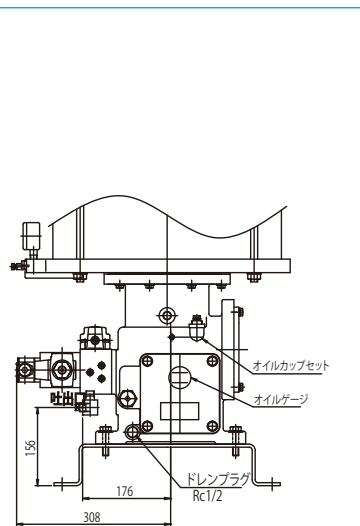
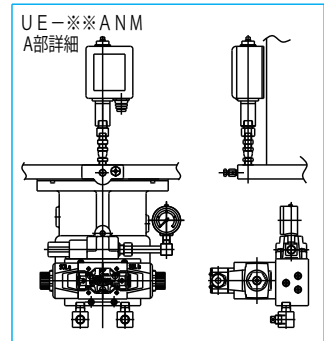
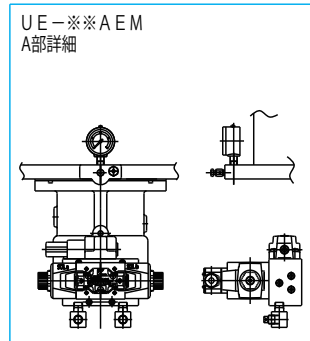
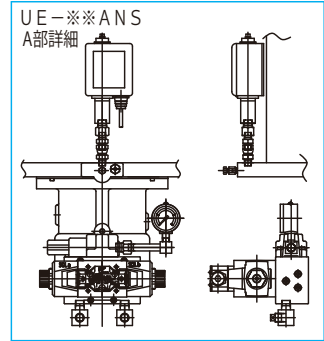
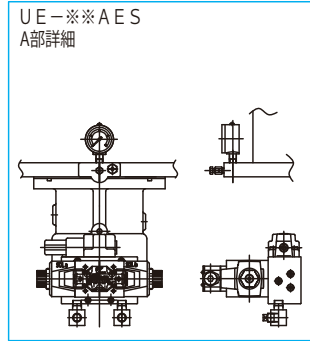
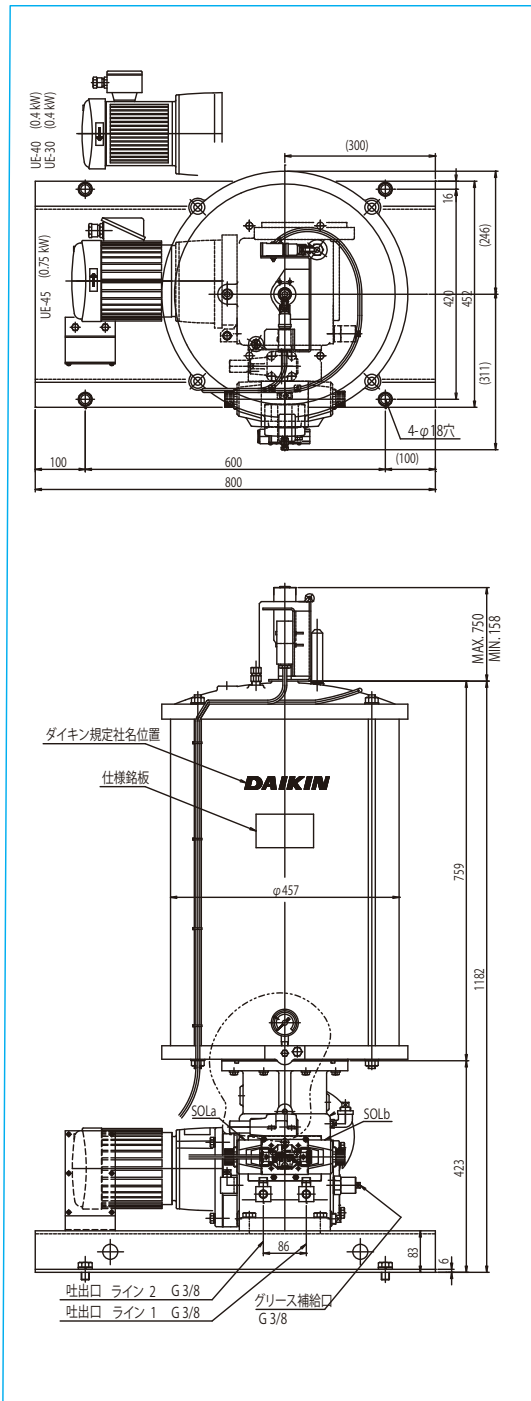
※屋外型については別途ご相談ください。

■形式記号説明

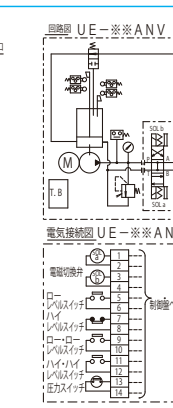
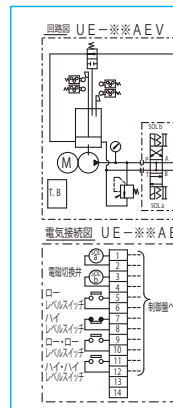
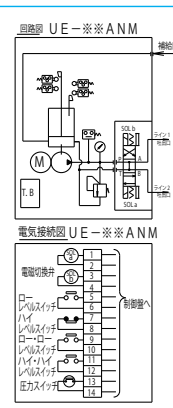
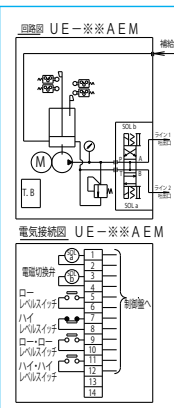
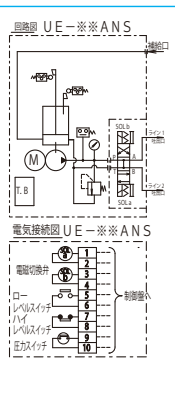
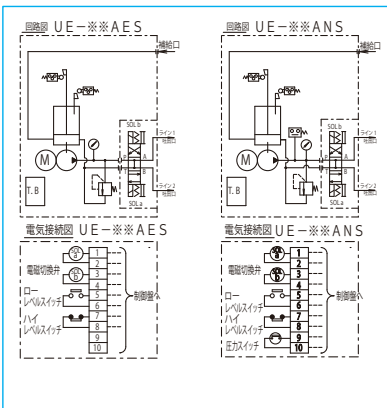


- ポンプ運転前に、タンク下部に組込まれているクランク室に、潤滑油(ギヤオイル2種 VG220JISK2219相当)を赤印の規定油面(約5ℓ)まで入れてください。
- クランク室の潤滑油は運転開始後200hで、その後は約2000h毎にチェックの上交換してください。
- 本図はタンク制御方式 S:一段ロー、ハイを表示しています。

外形寸法図



ユニット回路図



DX形分配弁

DX42～48
DX52～58

40MPaの超高压に対応

概要

DX形分配弁は40MPaの超高压に対応し、シングル吐出、ダブル吐出の切り替えが可能です。

特長

- ・最高使用圧力40MPa
高精度に仕上げたピストンおよび堅牢な本体により40MPaの超高压まで使用することができ、より広い範囲の給脂が可能となります。また環境温度、使用グリースの制約も少なくなります。
- ・優れた耐熱性
シール用パッキンは全てフッ素系ゴムを使用していますので、耐熱性を要する箇所に使用することができます。
- ・シングル吐出、ダブル吐出の変更が可能
全てのエレメントにおいて独立してシングル/ダブルの吐出形態を変更することができます。シングル吐出の場合は倍量の吐出となります。
- ・正面上のプラグ穴を上側の吐出口として使用すると、指示棒の動作確認がしやすくなります。

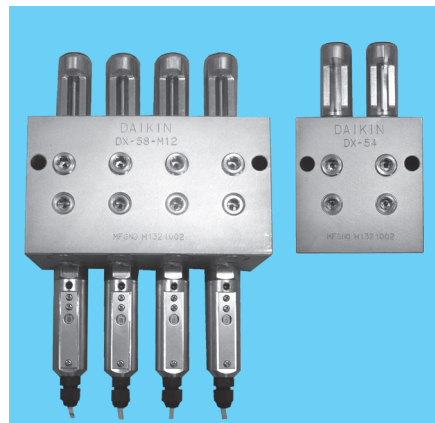
取扱い

〈取り付け〉

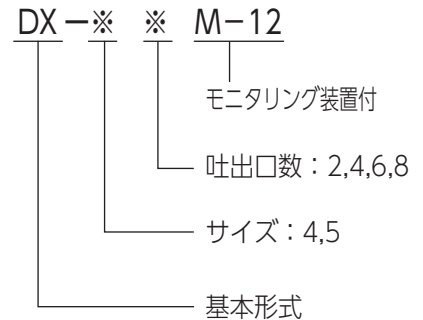
- ・2本の供給管を供給口に接続してください。
- ・塵埃、輻射熱などに対しては、防塵カバーを取り付けて、保護をしてください。

〈吐出量の調整〉

- ・フレーム上部にある調整ネジで吐出量を必要により調整してください。(仕様欄の1回転あたりの調整量参照)
- ・調整は、インジケータ指示棒が下に入った状態で、調整ネジの位置を合わせ、最後にロック用ネジでしっかり固定してください。



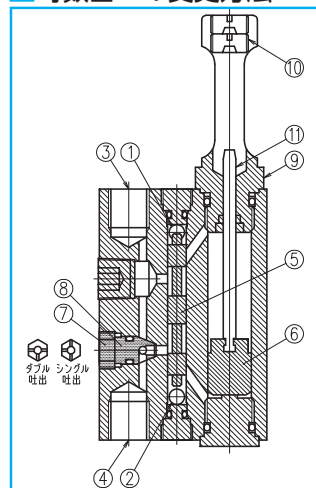
形式記号説明



分配弁形式	DX42～48	DX52～58
最高使用圧 (MPa)	40	
使用グリース	集中潤滑グリースNLGI ちょう度#0～2	
最低作動圧 (MPa)	3.5	
吐出量	cm ³ /st MAX	2.5
	cm ³ /st MIN	0.6
MIN時調整ネジ深さ	mm	13
調整ネジ1回転あたり調整量	0.15	
損失量	0.2	

分配弁形式	DX42～48 M-12	DX52～58 M-12
最高使用圧 (MPa)	40	
使用グリース	集中潤滑グリースNLGI ちょう度#0～2	
最低作動圧 (MPa)	3.5	
吐出量	cm ³ /st MAX	16
	cm ³ /st MIN	2.1
MIN時調整ネジ深さ	mm	8
MIN時ストローク	mm	8
MIN時吐出量	cm ³ /st	1.1
調整ネジ1回転あたり調整量	0.13	
損失量	0.2	

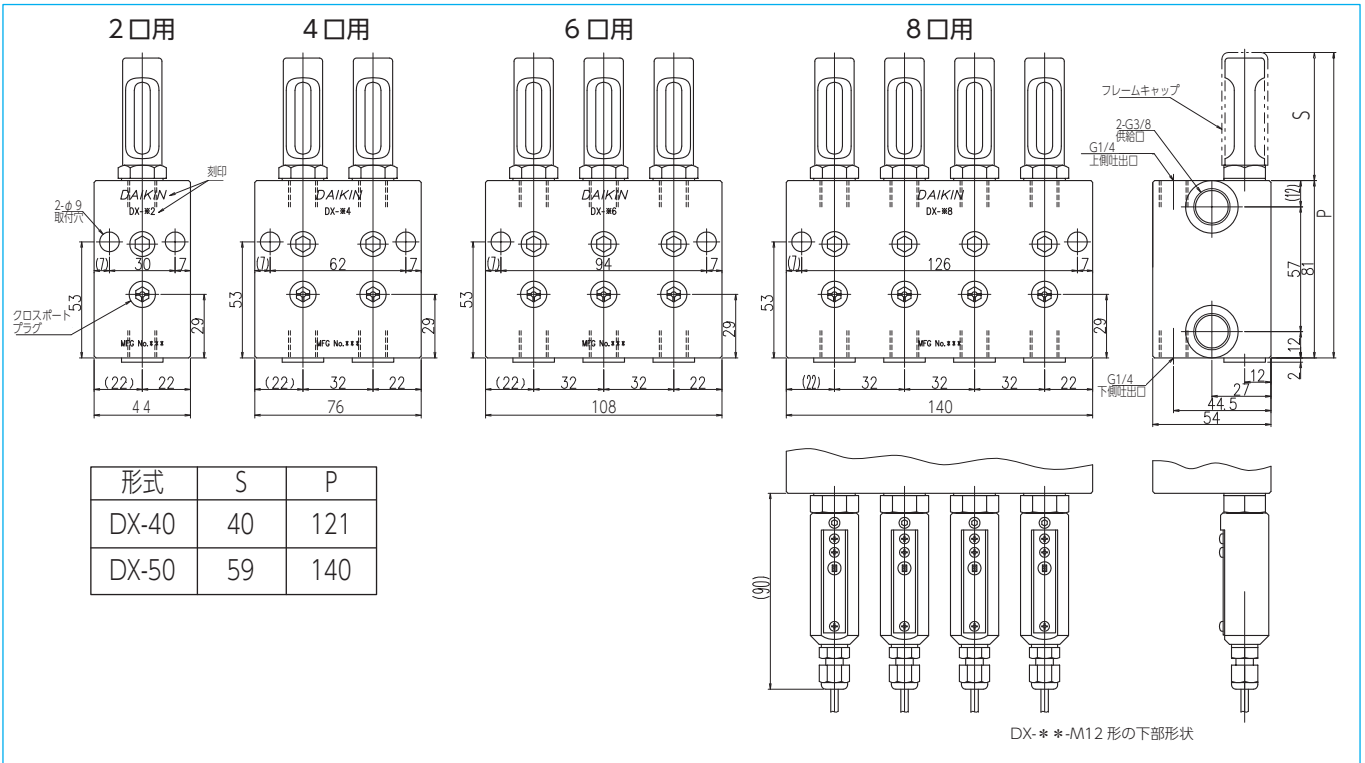
奇数口への変更方法



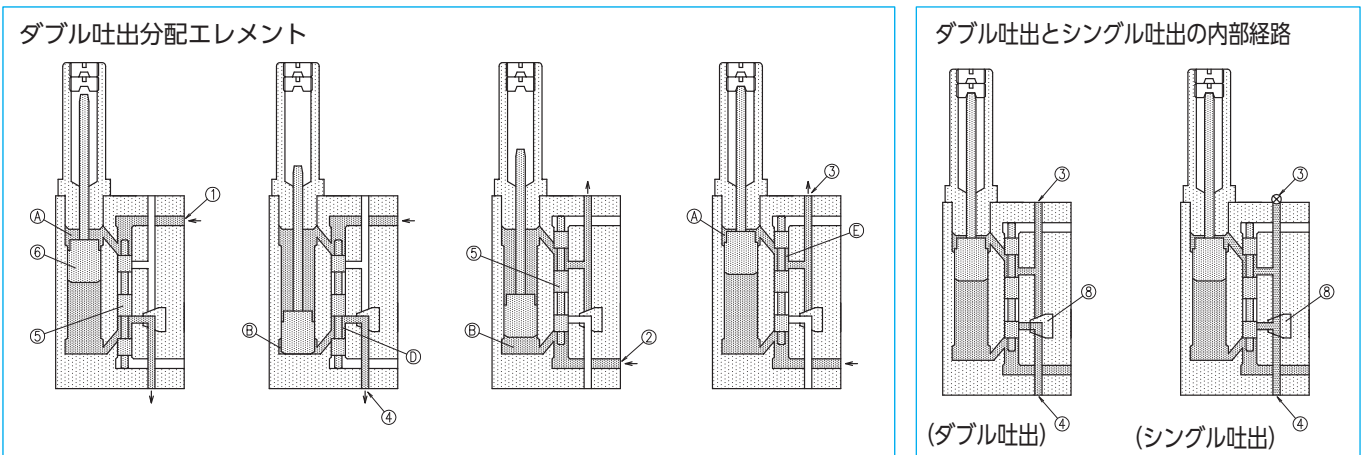
- ・各エレメントの口数変更は以下の手順で行ってください。なお各エレメントは独立してシングル/ダブルの吐出に変更可能です。

1. (左)図は各エレメントの断面を表します。出荷時はダブル吐出の状態です。
2. まず押さえプラグ⑦を六角レンチで緩め、続いて奥のクロスポートプラグ⑧のT字溝をマイナスドライバーで90°回転させます。図のような位置関係でシングル/ダブル吐出が判断できます。
3. 押さえプラグ⑦を再び締め付けます。
4. 使用しない吐出口③または④にプラグをします。

外形寸法図



動作説明



1. 供給管①に加圧すると、パイロットピストン⑤が押し下げられ、潤滑剤はメインピiston⑥の上部室Aに入り、メインピistonを押し下げます。
 2. メインピistonを押し下げると、その下部室Bの潤滑剤はパイロットピistonの細径部Dを通り、吐出口④から給油管に吐出されます。
 3. 次に供給管②に加圧すると、パイロットピiston⑤が押し上げられ、潤滑剤はメインピiston⑥の下部室Bに入り、メインピistonを押し上げます。
 4. メインピistonを押し上げると、その上部室Aの潤滑剤はパイロットピiston⑤の細径部Eを通り、吐出口③から給油管に吐出されます。
- 吐出口③④はクロスポートプラグ⑧で遮断されており、潤滑剤は各吐出口から個別に吐出されます。
- クロスポートプラグ⑧を90°回転させると吐出口③④は内部で集合されます。使用しない吐出口のみの吐出となります。

ご照会に際して

■ 潤滑装置のご照会には下記事項をお知らせください

1. 機械装置の全体図もしくは全体寸法を示すスケッチのご呈示
2. 給油すべき箇所の数量場所
特に場所に関しては図面（スケッチ）上にご明示ください。
3. 上記給油箇所の形式、特性
 - (イ) 軸受、摺動部の別、種類（平軸受、ボールベアリング等）
 - (ロ) 寸法および回転数
 - (ハ) 給油口が固定か、移動か、回転するかの区別および移動量、回転数
 - (ニ) 給油口ねじ径
 - (ホ) 給油量決定上特に注意すべき事項
 - (ヘ) 潤滑剤（グリース・オイル）の種類
4. 特に高温若しくは低温にさらされる場合（50℃以上、0℃以下）はその状況をくわしくご説明ください。
5. 室外、室内の別および特殊環境
6. ご予定のポンプ種類、制御方法
空圧、油圧ポンプ、全自動制御、半自動制御、制御盤ナシ、予備ポンプの有無
7. ポンプ、主管の位置に対するご予定またはご指示
8. 電動ポンプ、制御盤の電源（電圧、周波数）
9. 制御盤について特にご指示される事項（遠方表示、遠方操作等）
10. 駆動エア源、油圧源の仕様
11. その他見積に関して留意すべき事項
(3、4項以下ご指示なければ弊社の規格により見積ります)
12. 見積提出に関して提出すべき図面、書類およびその部数
なお、工事付の場合は、下記事項をご明示ください。
 1. 工事場所
 2. 工事範囲（原則として、電気、基礎工事等はいりません。）
 3. 支給品の有無
例えば、電力、水（近い所にあるか）使用潤滑剤、酸素、アセチレン等

安全上のご注意

この製品をご使用になる前に潤滑システムの安全上特に注意して頂きたい内容について記載しています。

ここにあげた安全上の注意事項は、お客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は誤った取り扱いをすると生じると想定される内容を「⚠ 警告」「⚠ 注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守って下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

1. 製品の取付け・取外し、修理等をする前に制御盤の電源スイッチを切って下さい。
ポンプが自動運転して、グリースを洩らし周囲を汚損する原因となります。
2. 機械に装着した潤滑機器・配管等を足場代わりに踏んだり、手摺代わりに引っ張らないで下さい。
滑って転倒したり潤滑システムを破損する原因となります。
3. 潤滑機器を改造・分解しないで下さい。必要な場合は弊社にご相談下さい。
万一、現地でメンテナンス作業が必要な時は専門知識（油圧調整士2級程度）がある人が実施して下さい。
4. 潤滑機器を取扱う際にけがをすることがありますので、状況に応じて保護具を着用して下さい。

注意

1. エア抜きをする時には、ビニール袋等で保護して下さい。
エアの混入したグリース（オイル）が飛散し、目に入ったり周囲を汚損する原因となることがあります。
2. グリースの取扱いには保護具等を使用して下さい。
目に入ったり皮膚に触れると視力障害・炎症を起こす原因となることがあります。
3. 潤滑システムの定期点検（グリース、オイル消費量管理・作動チェック等）を実施して下さい。
点検を忘れると軸受焼付等で機械故障の原因となることがあります。
4. 製品の定格仕様内および使用可能な環境条件の範囲内でご使用下さい。
定格仕様外ならびに特殊な雰囲気中（火気の側、爆発性雰囲気など）で使用すると機械故障・火災等の原因となることがあります。

品質保証について

保証内容は下記のとおりとさせていただきます。

保証期間	このカタログに記載の機器の保証期間は、製品納入日より1年間です。 グリース、オイル等の消耗品は、対象外とさせていただきます。
保証内容	製品の仕様・使用条件・環境については当社発行の仕様書、カタログに記載しています。 上記の範囲を超えてご使用される可能性のある場合又は、記載の無い条件や環境でのご使用或いは、高信頼性が要求される場合は、仕様書の取り交わしをお願いします。 万一、保証期間中に取扱説明書・注意書に従った使用状態で、故障した場合は無償修理とさせていただきます。 また、ここでいう保証は、ご購入または納入された本製品単体の保証に限るもので、本製品の故障や瑕疵から誘発される損害は除かせていただきます。
保証の免責事項	保証期間内でも、次の場合には原則として有料とさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び修理や改造による故障及び損傷 (2) 当社の仕様書、カタログ等に記載されている仕様条件、環境の範囲を超えた使用による故障及び損傷 (3) 当社指定以外の他製品との特殊な組み合わせ施工及び使用による故障及び不具合 (4) 施工上の不備に起因する故障及び不具合 (5) お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷 (6) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源、公害、塩害による故障及び損傷 (7) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (8) 法令、取扱説明書で要求される保安点検を行わないことによる故障及び損傷 (9) 日本国内以外でのご使用による故障及び損傷



ダイキン潤滑機設株式会社

本社 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目21番10号 ダイキン工業江坂ビル7階
TEL:(06)6337-2123(代) FAX:(06)6337-2125

東京営業所 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12番20号 日本橋T&Dビル2階
TEL:(03)5643-0221(代) FAX:(03)5643-0225

名古屋営業所 〒464-0858 名古屋市中区千種千種1丁目15番1号
TEL:(052)732-6510 FAX:(052)732-6509

加古川駐在所 〒675-0137 兵庫県加古川市金沢町1番地
(株)神戸製鋼所鉄鋼カンパニー加古川製鉄所内
TEL:(079)435-0426 FAX:(079)435-0460

広島営業所 〒730-0052 広島市中区千田町2丁目10番10号 Yビル105号
TEL:(082)242-2171 FAX:(082)242-2172

九州営業所 〒802-0002 北九州市小倉北区京町3丁目14番17号
TEL:(093)551-7040 FAX:(093)551-7041

淀川工場 〒566-0044 大阪府摂津市西一津屋1番1号 ダイキン工業(株)淀川製作所内
TEL:(06)6349-3453 FAX:(06)6349-3455

ホームページアドレス <https://www.daikin-lubrication.co.jp/>

代理店